

発掘された東国最古級の前方後方墳！

たかべ ごうふん

ごうふんしゅつどひん

高部30号墳・32号墳出土品



市内千束台地区に所在する高部古墳群の中の30号墳・32号墳の築造は、3世紀後半と推定され、関東地方最古級の前方後方墳です。これらの出土品は、平成5年度の発掘調査で出土した資料群で、当時の中国で作られた鏡をはじめとする各種の金属製品や、儀式に用いられた壺形土器、高坏形土器、手焙形土器など、類例の少ないきわめて貴重な出土品です。

県指定文化財：有形文化財（考古資料）

指定年月日：令和2年3月10日

所在地：木更津市太田 2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：木更津市

員数：27点（30号墳：7点・32号墳：20点）

公開・非公開の別：公開
